

口頭①

管理者育成研修の取り組み ～お薬手帳持参率を上げ、服薬管理の向上を図る～

那須南店
○吉田 仁志
西大島店
大島 良介

【目的】

患者様にお薬手帳の役割を理解してもらい、お薬手帳の持参率を上げることで、重複投与や飲み合わせの確認といった、服薬管理の向上を図る。

【方法】

西大島店、甲府南店で2015年1月末までのお薬手帳持参率の目標を設定し、達成に向けて取り組みを行う

西大島店：1月末までに75%を超える月がある。

甲府南店：1月末までに45%を超える月がある。

この目標達成のために、以下の取り組みを行った。

- ① お薬手帳の役割を記したポスターを作成し、それを掲示。（西大島店では毎月作成、甲府南店では似た内容のデザイン違いを3種類作成）
- ② 掲示したポスターを参考に、服薬サポート時にお薬手帳持参の説明に役立つツールを作成
- ③ 職員へ、患者様へお薬手帳を持参の声掛けの促進
- ④ 手帳持参率を発表し、取り組みの向上を図る

【結果】

西大島店：1月末に75.2%を達成

甲府南店：45%を超える月はなく、取り組みを開始した5月が39.3%と最も高い結果となった

【考察】

西大島店：声掛け、ポスターなど、手帳を持参するメリットを様々な観点から伝え続けたのが、目標達成の要因の1つだと考えられる。

甲府南店：高齢な患者が多く、ポスターの字が見えにくく、声掛けも十分ではなく、目標達成はできなかった。ただ、「ポスターを見た。手帳を持ってこない」という反応もあり、途中持参率の上昇も見られたので、ポスターは有効だと考えられる。しかし、さらに持参率を上げるには、声掛けを行うことが重要だと感じた。